

鎌仲ひとみ監督最新作品

すわこ文化村第33回企画

あなたも87人目の村民に
いかがですか？

まもりたい！未来のために

内部被ばくを生き抜く 上映会

未知なる危機に備えて

4人の医師が語る経験・広島ーチェルノブイリーイラクー福島

ー監督 鎌仲ひとみー

原発事故後の日本で、呼吸や汚染された水・食品を通じて引き起こされる内部被ばくは、この時代に生きる私たち全員の
問題となった。

どうやって生き抜いていくのか？

できることはありとあらゆる情報と可能性を吟味して、「命」
を守る努力をするということだ。

私たちは生き抜かなければならない。

そのためのささやかな助けとなればとこの作品を作った。



肥田舜太郎
内部被ばくに
警鐘を鳴らして六十六年

鎌田 實
東京大学医学部
放射線科教授
チェルノブイリ原発事故後
日本赤十字会理事、トリーナ
白血病や
がんの子どものために
働き続ける医師

児玉龍彦
東京大学医学部
放射線科教授
福島県の現場で働き
発信する医師

スモルニコフ・
バレンチナ
小児科医
チェルノブイリで
臨床医四十五年



2012 6月 3日 (日)



諏訪湖ハイツ コンベンションホール(中3階)

上映開始時刻

午前10時／午後1時30分／午後5時

参加費 一般 1000円 中・高校生 500円

お問合せ先 080-1040-7463 (すわこ文化村)

各回の内容 (最長2時間30分ですが、途中退席ご自由に)

- ① 映画上映 (80分)
- ② ミニレクチャー「この目を見たフクシマ」(30分)
代表理事毛利正道による、引き裂かれた南相馬・民衆が止めたフィリピン原発のことなど。
- ③ 「聞いてほしい、聞いてみたい」コーナー
(最長40分)